



麻疹・風しんの予防の為 MRワクチンは必ず2回受けましょう！

麻疹・風しん混合ワクチン (MR)

の予防接種はお済みですか。運動会のシーズンがやってきます。人が多く集まる場所では、感染症の心配もありますね。発症すると重症化しやすい麻疹等の感染症は予防が大切です。予防接種がまだの方は早めに受けましょう。ここでは、麻疹(はしか)・風しん(三日おつか)の予防について、確認しましょう。

麻疹・風しん・・・ どんな病気？

麻疹は、かかると高熱や発疹などの重い症状以外に、肺炎や脳炎などの生命を脅かす合併症を引き起こす可能性があります。

風しんは、妊娠初期の女性がかかると胎児が心臓病や白内障、聴覚障害を持って生まれる可能性がある病気です。また大人になってかかると重症化しやすくなります。

麻疹・風しんどちらの病気も感染力が強く、根本的な治療法はないので、予防が大切です。

予防が大事！

平成10年～13年の間には2度の大きな麻疹の流行があり、県内で9名の乳幼児が亡くなりました。このような悲劇を2度と繰り返さないために、麻疹を蔓延させないことが大切です。

また、昭和40年代に風しんの流行で、多くの先天性風疹症候群の子ども達が生まれ、大きな社会問題となりました。さらに、平成24年3月以降成人の風しんが流行し、妊婦が感染すると先天性風疹症候群の児が出生するリスクが高くなるため、任意で成人に対する予防接種がすすめられている現状です。

麻疹・風しんは予防接種で予防可能な感染症です。子供達を麻疹・風しんの罹患から守るためにも、定期予防接種の第1期・第2期の予防接種率を高める必要があります。

予防接種率95%をめざして

麻疹・風しん混合ワクチン (MR) の接種率が95%以上を保つことで流行を防ぐことが出来ると言われています。

麻疹・風しん対策を強化するため、平成18年4月から2回接種が導入され、麻疹・風しん混合ワクチン (MR) 接種することになりました。

うるま市の平成25年度麻疹・風しん第1期(1歳～2歳未満児)の接種率は88・4%。第2期(小学校就学前1年間の子)の接種率は90・4%で流行防止に効果的とされる95%には達していない状況です。

なぜ2回接種が必要なの？

★理由その一

一回の接種で免疫がつかなかった子どもたち(数%存在すると考えられます)に免疫を与えます。

★理由その二

一回の接種で免疫がついたにもかかわらずその後の時間の経過とともにその免疫が減衰した子どもたちに再び刺激を与え、免疫を強固なものにします。

★理由その三

一回目に接種できなかった子どもたちにもう一度、接種のチャンスを与えます。

対象者
第1期は1歳～2歳未満が公費負担(無料)の対象です。1歳のお誕生日を迎えたら、早めに接種しましょう。

平成26年度の第2期予防接種の対象者は、来年度に小学校入学を迎える幼児(平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれ)の皆さんです。平成27年3月31日を過ぎると、公費負担(無料)対象外となり、自己負担での接種となるので注意が必要です。詳しくは、左記までお問い合わせください。

健康福祉センター(うるま市内)
うるま市役所 健康支援課
☎973-32009